

WEBROOT®

an **opentext™** company

ビジネス管理コンソール「はじめに」ガイド

Copyright

Copyright 2019 Webroot. All rights reserved.

ビジネス管理コンソール「はじめに」ガイド

この文書に記載されている情報は予告なく変更されることがあります。この文書で説明されているソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されています。このソフトウェアの使用または複製は、これらの契約の条件に従って行うものとします。複写や記録を含む、電子的または機械的ないかなる形態や手段によっても、書面によるWebrootの許可なく、購買者の個人的な使用以外の目的で、本書のいかなる部分についても複製、検索システムへの保存、または転送を行うことはできません。

目次

システム要件	1
ビジネス管理コンソールの概要	2
対象	2
はじめに	3
3ステップの設定	3
ステップ 1: 体験版への登録または製品の購入	4
体験版への登録	4
ビジネス製品の購入	4
ステップ 2: アカウントの作成	5
アカウントの作成とアクティブ化	6
2段階認証 (2FA) の設定	11
システム要件	11
コンソールの選択	19
[ビジネス] オプション	19
ビジネス管理コンソールの設定	21
スポットライト ツアー	22
ステップ 3: Webroot Business Endpoint Protection のインストール	24
エンドポイントへのエージェントの配備	24
Windows または Mac エージェントのダウンロード	24
Windows エージェントを手動で PC にインストールする	26
Mac エージェントのインストール	27
Mac エージェントを手動でターゲット エンドポイントにインストールする	27
キーコードの確認	28
次のステップ	29
Endpoint Protection の使用の開始	30

システム要件

アカウントと管理コンソールの設定では、最新 Web ブラウザのほとんどがサポートされており、Webroot Business Endpoint Protection 製品では、最新 Windows および Mac コンピュータのほとんどが保護対象になります。Windows サーバーや、さまざまな VM の混在も保護対象になります。不明な点がある場合は、詳細なリストをご覧ください。

システム要件のリストは、Endpoint Protection 製品 ページの下部にあります。

<https://www.webroot.com/us/en/business/smb/endpoint-protection#heading-requirements>

注意: これらのリンクは米国の英語サイトのもので、国と言語のオプションは、Web サイトの右上で国旗をクリックし、国を選択することで変更できます。

ビジネス管理コンソールの概要

対象

この「はじめに」ガイドは、自社でセキュリティを管理する中小企業を対象としています。他社や顧客のセキュリティを管理する場合は、MSP 管理コンソールの「はじめに」ガイド (<https://docs.webroot.com/us/en/business>) をご利用ください。

このガイドの対象は、コンピュータに関する知識のある方ですが、システム管理者である必要はありません。

このガイドでは、ビジネス管理コンソールである Webroot Business Endpoint Protection の設定と使用について手順を説明します。管理するコンピュータの台数が 5 台以内の場合は、Webroot SecureAnywhere® Internet Security Complete の使用をご検討ください。

エンドポイントとは

この製品でのエンドポイントとは、Microsoft Windows または Apple Mac のコンピュータ、ラップトップ、サーバー、または仮想マシンを指します。Webroot Business Endpoint Protection は、マルウェア、ウイルス、その他の脅威からエンドポイントを保護します。Google Android または Apple iOS デバイスを保護する場合は、Webroot Business Mobile Protection の使用をご検討ください。

「[はじめに](#)」に進みます。

はじめに

コンピュータの使い方や使用するネットワークは、会社によって異なります。独自のセキュリティ要件が存在する場合もあります。この「はじめに」ガイドでは、標準的なセキュリティ設定を行うための手順を説明します。製品の稼働が開始したら、セキュリティポリシーとオーバーライドの変更、エージェントのサイレント配備、コンピュータのグループ分けなど、強力な機能を試すことができます。

3 ステップの設定

開始するために必要となる主な作業は、次の3ステップです。

1. 1つ目のステップは、Webroot のビジネス製品を購入するか、体験版に登録することです。このステップは、このガイドを受け取る前に済んでいるはずですが。
2. 2つ目のステップは、Webroot アカウントの作成とアクティブ化、2要素認証の設定、Webroot ビジネス管理コンソールの初回設定です。
3. 3つ目のステップは、エージェントをエンドポイントに配備することで Webroot Business Endpoint Protection をインストールすることです。保護対象の各コンピュータにエージェントをインストールすると、ビジネス管理コンソールを通じて、エージェントの登録とレポートが行われます。

これらのステップを完了すると、Webroot で保護されているすべてのコンピュータを管理コンソールで確認できます。

[「ステップ 1: 体験版への登録または製品の購入」](#)に進みます。

ステップ 1: 体験版への登録または製品の購入

体験版へのご登録または Webroot のビジネス製品のご登録がお済みであれば、このステップの操作は必要ありません。

すでに体験版に登録するか製品を購入し、製品をインストールする必要がある場合は、「[ステップ 2: アカウントの作成](#)」に進みます。

それ以外の場合:

体験版への登録

Webroot のビジネス用 Web サイト (<https://www.webroot.com/us/en/business>) にアクセスします。メイン ナビゲーションメニューの項目 [ビジネス] をクリックし、[無料体験版] をクリックします。どこから始めればよいかわからない場合は、[Endpoint Protection] を選択します。

体験版のページには、営業担当者の電話番号も記載されています。ご不明な点がある場合にご利用ください。

ビジネス製品の購入

Webroot のビジネス用 Web サイト (<https://www.webroot.com/us/en/business>) にアクセスします。製品に関する詳細情報を確認して、オンラインカートに製品を追加します。カートには、オンラインで購入する方法や、販売チャネルを介して多数の定期購入契約を購入する方法について、手順が詳しく記載されています。

注意: これらのリンクは米国サイトのもので、国と言語のオプションは、Web サイトの右上で国旗をクリックし、国を選択することで変更できます。

「[ステップ 2: アカウントの作成](#)」に進みます。

ステップ 2: アカウントの作成

このセクションでは、以下について説明します。

- [Webroot アカウントの作成とアクティブ化](#)
 - [2 段階認証 \(2FA\) の設定](#)
 - [ビジネス管理コンソールの初回の設定](#)
-

アカウントの作成とアクティブ化

まず、Webroot アカウントを作成します。Webroot アカウントは、Webroot のビジネス製品および個人のお客様向け製品に使用します。このアカウントは、Webroot 製品を管理するためのビジネス ID または個人 ID です。ここでは、ビジネス管理コンソールの使用を開始するためのアカウントを設定します。

アカウントを作成するには:

1. 管理コンソールを設定するには、Webroot から送られてきた "Webroot 管理コンソール(体験版) アカウント - 手順" という電子メールを開いて読み、記載されている情報に従います。この電子メールは通常、"ようこそ" という電子メールから 5 ~ 10 分後に送られてきます。
2. 電子メール内の登録用リンクをクリックします。
3. 受信した電子メールから仮パスワードをコピーして、[登録確認] ペインの [仮パスワード] フィールドに貼り付けます。
4. [新しいパスワードを作成] フィールドに新しいパスワードを入力し、確認のため再度入力します。
5. [個人用セキュリティコード] フィールドに、ログインに使用するセキュリティコードを入力します。2 桁を入力するよう求められます。
6. [セキュリティの質問] ドロップダウンメニューから、セキュリティの質問を 1 つ選択し、適切なボックスに回答を入力します。
7. [勤務先電話番号] フィールドに、勤務先の電話番号を入力します。

8. [同意して登録する] チェックボックスをオンにします。

9. **[確認]** ボタンをクリックします。

WEBROOT™
SecureAnywhere.

ログイン アカウントの作成

アカウントの作成

ウェブルート製品のキーコード

Eメールアドレス

電子メールアドレスを再入力

パスワード

強度: ■■■■■■

パスワードの繰り返し

個人用セキュリティコード

セキュリティの質問

セキュリティの回答

今すぐ登録

10. アカウントが作成され、アクティブ化されました。

「[2 要素認証 \(2FA\) の設定](#)」に進みます。

2 段階認証 (2FA) の設定

アカウントがアクティブになったため、2 要素認証を設定できます。2 段階認証 (2FA) では、承認されていないユーザーによってアカウントに許可なくアクセスされることのないよう、保護レイヤーを追加することでサイバー復元力を高めます。

2FA の設定はオプションです。2FA を使用しない場合は、「[コンソールの選択](#)」に進みます。

システム要件

Android または iOS のモバイル デバイスまたはタブレット では、認証用アプリを使用する必要があります。

2FA を有効にするには

1. まず、Webroot [管理コンソール](#) にアクセスし、アカウントの資格情報を使用してログインします。
2. [2FA を設定する] 画面が表示されます。管理コンソールへのログインが初めての場合は、[2FA を設定する] をクリックしてプロセスを開始することも、[今はスキップする] をクリックしてコンソールを開くこともできます。

WEBROOT®

2 段階認証 (2FA)

簡単セットアップ

- セキュリティ用の追加の質問を 2 つ選択する。
- 認証用のアプリをダウンロードする。
- 認証用アプリを使い、提供された QR (クイックレスポンス) コードをスキャンする。
- 認証用コードを入力します。

2FA を設定する

「今はスキップ」して後で設定したい場合は、2FA オプションはビジネス管理コンソールのアドミンセクション、またはコンシューマーウェブコンソールのアカウント設定セクションにあります。

もう一度同じ質問をされたくありません。

今はスキップする

FAQs

2FA とは何か。
2 段階認証はログインのステップを一つ追加し、あなたのアカウントを保護することによりあなたのデジタルセキュリティを改善します。

2FA を使用すべき理由。
2 段階認証は無認可のユーザーが許可なしにアカウントに不正アクセスすることをより難しくします。

他にもメリットがありますか。
あなたのコンソールにログインする際、セキュリティ・コードを入力する必要がなくなります。

個人のお客様向けリリースノート

ウェブサイト利用規約

法人向けリリースノート

プライバシー ポリシー

ウェブルート コミュニティ

使用許諾契約書

© 2020 Webroot Inc.

管理コンソールにログイン済みであり、2FA を設定するプロセスのスキップを選択した場合は、こちらをクリックして 2FA の有効化に関する手順をご覧ください。

2FA セットアップ プロセスは、管理コンソールの [管理者] タブから開始することもできます。これには、管理者リストにある自分の名前をクリックし、右側のパネルに自分の情報が表示されたら、[有効化] をクリックします。

Admin User 3 (admin3@domain.com)

詳細 サイト権限

名
Admin

姓
User 3

電話番号

タイムゾーン
米国、コロラド、コロラドスプリングス、デンバー

アカウントのタイプ
GSM スーパー管理者

パスワード
変更

2FA
有効化

セキュリティコード
変更

セキュリティの質問
変更

保存

- 次に、[2FA を設定する] 画面が表示され、セキュリティの質問を 2 つ選び、回答を入力するよう求められます。操作が完了したら、[続行] をクリックします。

WEBCROOT®

2FA を設定する

ステップ 1

2FA ではあなたはセキュリティ用の追加の質問を 2 つ選択する必要があります。以下から 2 つ質問を選択し、回答を入力して「続ける」をクリックしてください。

あなたがデバイスを紛失したり盗難にあったりした場合に再度尋ねられるため、答えを正しく入力することが重要です。

セキュリティ用の質問

リストから質問を選択してください。

セキュリティ用質問の回答

セキュリティ用の質問

リストから質問を選択してください。

セキュリティ用質問の回答

キャンセル 続ける

[個人のお客様向けリリースノート](#) [法人向けリリースノート](#) [ウェブルート コミュニティ](#)
[ウェブサイト利用規約](#) [プライバシー ポリシー](#) [使用許諾契約書](#)

© 2020 Webroot Inc.

4. スマートフォンまたはカメラ付きタブレットに、Google Play ストアまたは Apple App Store から認証用アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。

WEBROOT[®]

2FA を設定する

ステップ 2

あなたのカメラ付きのスマートフォンまたはタブレットに**認証用アプリ**をダウンロードする。ウェブルートは Google Play ストアまたは Apple アプリストアにある以下の無料アプリの一つを使用することを推奨しています。

<p>Google 認証用アプリ</p> 	<p>Microsoft 認証用アプリ</p> 
<p>LastPass 認証用アプリ</p> 	<p>2 段階認証 (2FA)</p> 

ステップ 3

アプリを開いて、以下の QR コードをスキャンしてください。



実例

QR コードをスキャンできない場合

ステップ 4

あなたの認証アプリから以下の欄に認証コードを入力してください。

認証コードを確認する

さらにサポートが必要ですか? QRコードと認証アプリを理解するためのガイドについては、[ここをクリックしてください](#)

キャンセル
設定を完了する

個人のお客様向けリリースノート
法人向けリリースノート
ウェブルートコミュニティ

モバイル認証用アプリには、Google 認証用アプリ、Microsoft 認証用アプリ、LastPass 認証用アプリ、Authy 2 段階認証などがあります。

5. 認証用アプリをダウンロードしたら、アプリを開き、画面の指示に従って、管理コンソールに表示される QR コードをスキャンします。QR コードをスキャンできない場合は、[QR コードをスキャンできない場合] をクリックして、表示されたコードをデバイスの認証アプリに入力します。コードでは大文字と小文字が区別されるため、表示されたとおりに大文字と小文字を入力してください。

ビジネス管理コンソール「はじめに」ガイド

ステップ 2

あなたのカメラ付きのスマートフォンまたはタブレットに認証用アプリをダウンロードする。ウェブルートは Google Play ストアまたは Apple アプリストアにある以下の無料アプリの一つを使用することを推奨しています。

Google 認証用アプリ	Microsoft 認証用アプリ
	
LastPass 認証用アプリ	2 段階認証 (2FA)
	

ステップ 3

アプリを開けて、以下の QR コードをスキャンしてください。



実例

QR コードをスキャンできない場合は、あなたのデバイス上の認証用アプリに以下の秘密を手動で入力してください。新しい秘密の質問の答えは「時間ベース」で 6 文字の長さに設定しなければなりません。

PS2XW IG
7F7YUZ

ステップ 4

あなたの認証アプリから以下の欄に認証コードを入力してください。

さらにサポートが必要ですか? QRコードと認証アプリを理解するためのガイドについては、[ここをクリックしてください](#)





6. 認証アプリから取得した認証コードをステップ 4 のボックスに入力し、[認証コードを確認する] をクリックします。コードの確認が行われ、「認証が成功しました」というメッセージが画面に表示されます。[設定を完了する] をクリックして 2FA の設定を完了します。

WEBROOT®

2FA を設定する


ステップ 2

あなたのカメラ付きのスマートフォンまたはタブレットに認証用アプリをダウンロードする。ウェブルートは Google Play ストアまたは Apple アプリストアにある以下の無料アプリの一つを使用することを推奨しています。

<p>Google 認証用アプリ</p>  <p>LastPass 認証用アプリ</p> 	<p>Microsoft 認証用アプリ</p>  <p>2 段階認証 (2FA)</p> 
---	---

ステップ 3

アプリを開けて、以下の QR コードをスキャンしてください。



QR コードをスキャンできない場合は、あなたのデバイス上の認証用アプリに以下の秘密を手動で入力してください。新しい秘密の質問の答えは「時間ベース」で 6 文字の長さに設定しなければなりません。

**PS2XWE4XAQPYD5P2Z6S5F6JWMG
7F7YUZ**

ステップ 4

あなたの認証アプリから以下の欄に認証コードを入力してください。

253944

認証が成功しました。

認証コードを確認する

さらにサポートが必要ですか? QRコードと認証アプリを理解するためのガイドについては、[ここをクリックしてください](#)

キャンセル

設定を完了する

個人のお客様向けリリースノート 法人向けリリースノート ウェブルートコミュニティ

注意: コードは 30 秒で有効期限が切れるため、コードの入力時に "認証に失敗しました" というメッセージが表示された場合は、認証アプリから新しいコードを取得して入力し、[認証コードを確認する] をクリックする必要があります。

- 2FA が有効になったため、"おめでとうございます!" の画面が表示されます。[コンソールに進む] をクリックし、2FA を使用して管理コンソールにログインします。

ログイン時に入力が求められる認証用コードは認証用アプリから提供されます。このコードがセキュリティコードに代わって使用されます。

WEBROOT®

おめでとうございます! あなたはウェブルート 2FA の設定を完了しました。

次にコンソールにログインする際にスマートフォンまたはタブレットをお持ちください。ログインの度に認証用アプリを使用する必要があるでしょう。前回のログインの際にセキュリティコードを使用した場合は、そのステップの代わりに 2 段階認証が適用されるでしょう。

ウェブルートをお選びいただきありがとうございました。

[コンソールに進む](#)

[個人のお客様向けリリースノート](#)

[法人向けリリースノート](#)

[ウェブルート コミュニティ](#)

[ウェブサイト利用規約](#)

[プライバシー ポリシー](#)

[使用許諾契約書](#)

© 2020 Webroot Inc.

注意: セキュリティコードはアカウントに保存され、2FA が無効になった場合に使用されます。

8. アカウントで 2FA が有効になったことを知らせる電子メールが Webroot から届きます。

「[コンソールの選択](#)」に進みます。

コンソールの選択

コンソールに初めてサインインする際には、コンソール構成の選択という重要な決定を行う必要があります。

WEBROOT®

改良を行いました。

今回の訪問のみ コンソールに移動する前に画面が何度か切り替わります。
お客様の組織に最も当てはまるものを選択してください：

法人向け

- ビジネスのデバイスを管理
- すべてのデバイスと請求に使えるひとつのキーコード
- グループ管理で複数のオフィス拠点をサポート

マネージド サービスプロバイダー

- 顧客のデバイスを管理
- 顧客のサイトごとにキーコード設定、請求。
- 個々のサイト管理について顧客 / 拠点をサポート。

選択

選択

[ビジネス] オプション

[ビジネス] オプションを選択すると、会社のセキュリティを管理する管理コンソールが単一サイトとして設定されます。サイトは会社を表し、単一サイトのビジネス構成では、ご自分の会社のセキュリティのみをシンプルな画面で管理できます。

他社や顧客のセキュリティを管理する場合は、MSP 管理コンソールの「はじめに」ガイドの「[管理コンソールの初回の設定](#)」を参照してください。

サイトとは

この製品で "サイト" を使用すると、サービスプロバイダーが保護対象の会社の製品を管理できます。会社のアカウントに加えて、サイトでは、部署や、会社の地域、オフィスの場所などを表すこともできます。サイトを使用すると、多数のエンドポイントを管理し、顧客ごとに要約できます。

コンソールを選択するには:

1. [管理コンソール](#)にログインし、[ビジネス] という見出しの下にある情報を確認して、[選択] をクリックします。

注意: 顧客用にデバイスを管理しており、各顧客のサイトに使用するキーコードと請求が別々である場合は、[マネージド サービス プロバイダー コンソール] を選択します。詳細については、[「マネージド サービス プロバイダー コンソールについて」](#)を参照してください。

「[ビジネス管理コンソールの設定](#)」に進みます。

ビジネス管理コンソールの設定

アカウントを作成し、[ビジネス管理コンソール]を選択したら、会社に関する情報を入力する必要があります。

ビジネス管理コンソールとは

Webroot ビジネス管理コンソールとは、Windows または Mac コンピュータ (エンドポイント) のセキュリティを管理するために使用するオンライン ポータルです。このコンソールでは、Webroot のその他のビジネス製品も管理できます (使用している場合)。

ビジネスコンソールを設定するには:

1. ビジネス管理コンソールを選択すると、ビジネスの情報ページが表示されます。



WEBROOT®

次の情報を入力してください:

法人向け

- ビジネスのデバイスを管理
- すべてのデバイスと請求に使えるひとつのキーコード
- グループ管理で複数のオフィス拠点をサポート

サイト / 会社名 *

デバイス数 *

会社の業種 *

会社の規模 *

選択

戻る

2. [サイト / 会社名] フィールドに、サイトまたは会社の名前を入力します。
3. [デバイスの数] フィールドに、管理するデバイスの数を入力します。
4. [会社の業種] フィールドのドロップダウンメニューから、実際の業種のタイプに最も近いものを選択します。

5. [会社の規模] フィールドのドロップダウンメニューから、実際の会社のワーカー数に最も近いものを選択してください。
6. 設定が完了したら、[選択] ボタンをクリックします。

WEBROOT®

次の情報を入力してください:

法人向け

- ビジネスのデバイスを管理
- すべてのデバイスと請求に使えるひとつのキーコード
- グループ管理で複数のオフィス拠点をサポート

サイト/会社名 *
Test Company

デバイス数 *
100

会社の業種 *
公務

会社の規模 *
従業員数 11~100 人

選択

戻る

コンソールのダッシュボードが開きます。

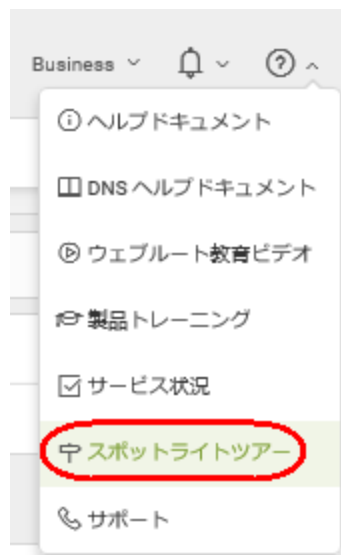
スポットライト ツアー

初めてコンソールを開くと、スポットライト ツアーが開始されます。ツアーには、以下の項目に関する簡単な説明が含まれます。

- ダッシュボード
- DNS Protection やセキュリティ意識向上トレーニングなどの追加セキュリティレイヤー
- 管理者の管理
- グループとポリシー
- オーバーライド、レポート、警告、設定

後でスポットライト ツアーを再度表示するには:

グローバル ナビゲーション バーの右上にあるヘルプメニュー アイコンをクリックして、ドロップダウン メニューから [スポットライト ツアー] を選択します。詳細については、「[ビジネス コンソールのスポットライト ツアーについて](#)」を参照してください。



「[ステップ 3: Webroot Business Endpoint Protection のインストール](#)」に進みます。

ステップ 3: Webroot Business Endpoint Protection のインストール

Webroot Business Endpoint Protection は、多層型セキュリティを提供する Webroot の製品群の基盤となる製品です。Endpoint Protection を初めて配備するには、Endpoint Protection エージェントをエンドポイントに配備します。

エージェントとは

Webroot エージェントは、コンピュータで動作する小さなソフトウェアです。エージェントが動作するコンピュータ内で、エージェントには一意の ID があります。エージェントは、エンド ユーザーによる制御を必要とせず、管理コンソールを使用する管理者に代わってセキュリティ操作を実行します。

エンドポイントとは

エンドポイントとは、ネットワークに接続されたデバイスを指します。この製品のエンドポイントは、Windows または Mac OS X オペレーティングシステムを使用するデバイスです。

エンドポイントへのエージェントの配備

Webroot Business Endpoint Protection では、エージェントがインストールされている PC と Mac が保護されません。

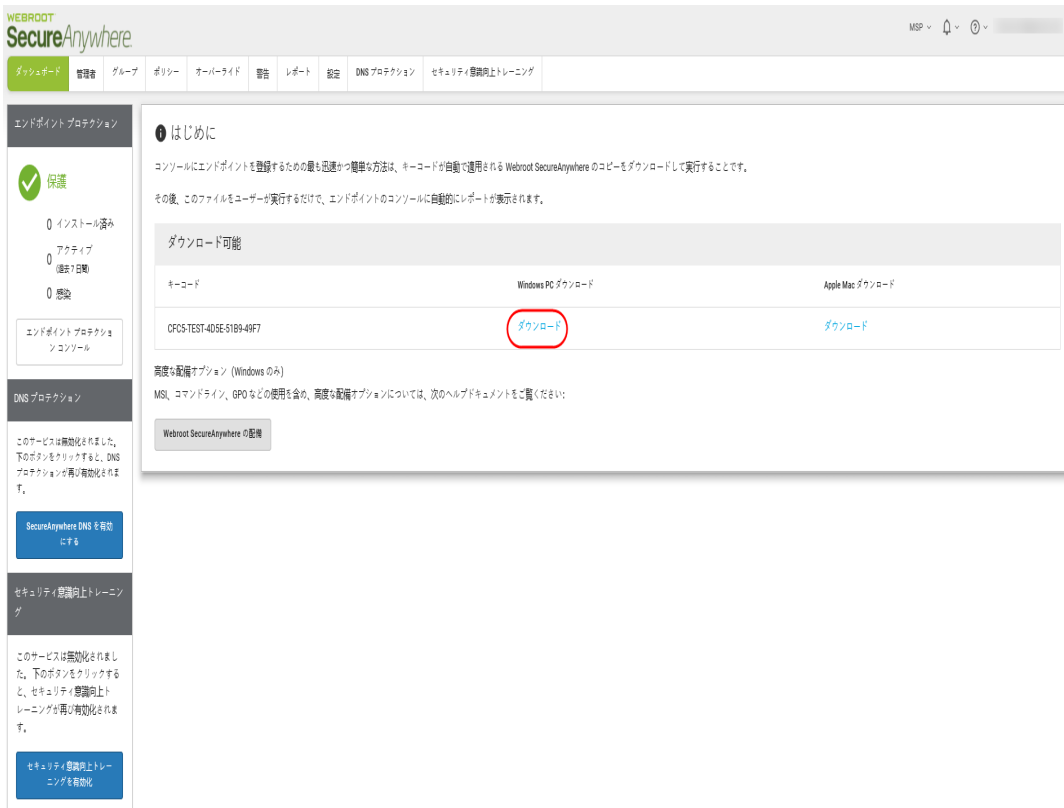
この例では、Windows PC または Apple Mac にエージェントを手動でインストールします。

Windows または Mac エージェントのダウンロード

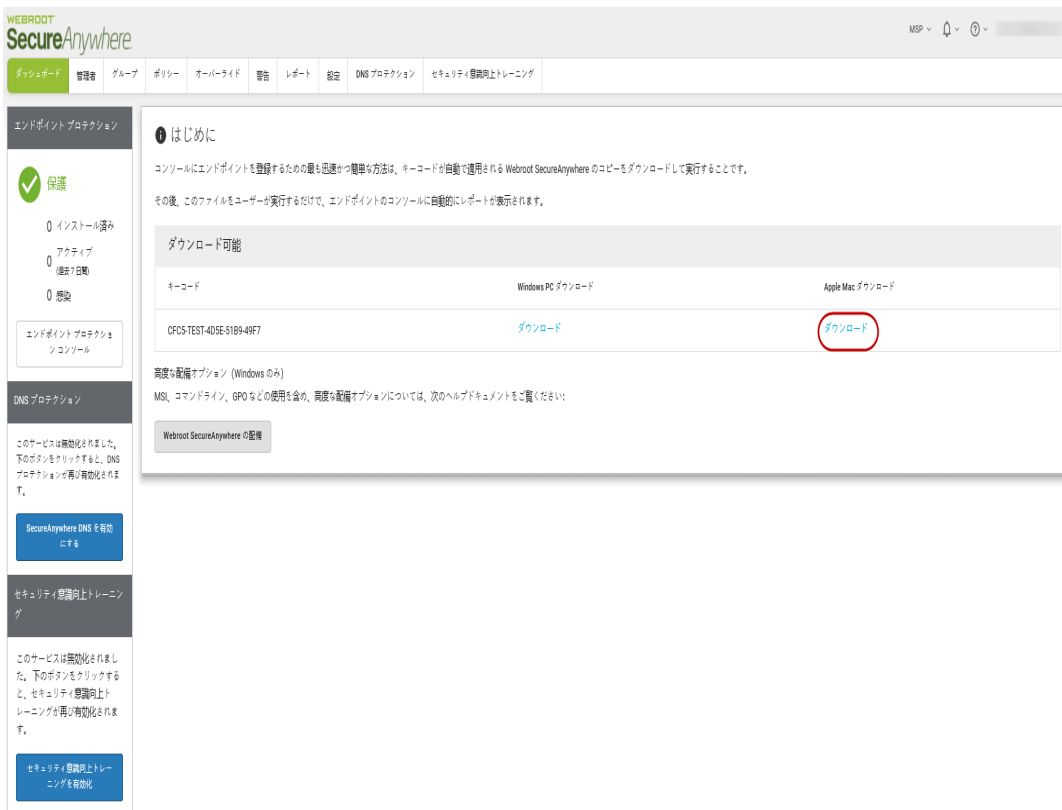
コンソールにログインしておく必要があります。

1. コンソールにログインしていない場合は、[ダッシュボード] タブをクリックします。

2. Windows PC の場合は、[はじめに] の [Windows PC 用ダウンロード] カラムで、[ダウンロード] リンクをクリックします。



3. Apple Mac の場合は、[はじめに] の [Apple Mac 用ダウンロード] カラムで、[ダウンロード] リンクをクリックします。



エージェントは、Web ブラウザのダウンロード フォルダか、ダウンロードを保存した場所にあります。これらのファイルは、PC または Mac にエージェントをインストールするために必要です。インストールを開始するには、Windows ファイルを実行するか、Mac ファイルを開きます。

Windows エージェントを手動で PC にインストールする

保護対象の PC に、ダウンロードした Windows インストール ファイルをコピーします。エージェントのインストール手順が記載された電子メールを使用する会社もあります。実行可能ファイルの送信が許可されないように電子メールが設定されている場合もあるため、ファイルを zip または他のアーカイブで圧縮しておく必要があります。

ファイルを PC に保存した後:

1. .exe ファイルを実行してエージェントをインストールします。

これで完了です。エージェントがインストールされると、サイトにレポートされ、一元管理が可能な状態になります。

MSI を使用するグループ ポリシー オブジェクト (GPO) を使用して、Webroot エージェントはサイレント バックグラウンド インストールで配備できます。ここで、スキャンの進行と結果をコンソールで確認してください。

注意: エージェントを初めてインストールした後、ナビゲーション バーで [設定] をクリックし、[ダウンロード] タブを選択することで、いつでも配備オプションを確認できます。



Mac エージェントのインストール

Mac エージェントをインストールする最も簡単な方法をご紹介します。

保護対象の Mac に、ダウンロードした Webroot の .dmg インストール ファイルをコピーします。エージェントのインストール手順が記載された電子メールを使用する会社もあります。実行可能ファイルの送信が許可されないように電子メールが設定されている場合もあるため、ファイルを zip または他のアーカイブで圧縮しておく必要があります。

Mac エージェントを手動でターゲット エンドポイントにインストールする

Mac エージェントをインストールするには:

1. Webroot エージェントの .dmg ファイルを Mac にダウンロードまたはコピーします。
2. wsamac.dmg ファイルをダブルクリックしてインストーラーを開きます。
3. [アプリケーション] フォルダを開き、Webroot アイコンをダブルクリックしてインストーラーを開きます。
4. 初期アクティブ化 ウィンドウの言語選択ドロップダウンメニューで、エンド ユーザーのメイン言語を選択します。この設定を後で変更することはできません。[次へ] ボタンをクリックします。

注意: 必ず正しい言語を選択してください。製品のインストール後に言語を変更することはできません。

5. 次のパネルで、[アクティブ化] ボタンをクリックします。
6. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

注意: エージェントを初めてインストールした後、管理コンソールビューの [リソース] タブで、いつでも配備オプションを確認できます。

キーコードの確認

初めてエージェントをインストールした後、ナビゲーションバーで [設定] をクリックし、[ダウンロード] タブを選択することで、必要に応じていつでもキーコードを確認できます。



はじめに

コンソールにエンドポイントを登録するための最も迅速かつ簡単な方法は、キーコードが自動的に適用される Webroot SecureAnywhere のコピーをダウンロードして実行することです。

その後、このファイルをユーザーが実行するだけで、エンドポイントのコンソールに自動的にレポートが表示されます。

ダウンロード可能		
キーコード	Windows PC ダウンロード	Apple Mac ダウンロード
このリンクでダウンロード	ダウンロード	ダウンロード

高度な配備オプション (Windows のみ)

MSI、コマンドライン、GPO などの使用を含む、高度な配備オプションについては、次のヘルプドキュメントをご覧ください:

[Webroot SecureAnywhere の配備](#)

「[次のステップ](#)」に進みます。

次のステップ

Endpoint Protection 製品の設定が完了しました。

- エージェントにより、脅威の初回スキャンが数秒または数分で完了し、レポートがサイトに返されます。
- Webroot ではクラウドベースの脅威検出が使用されるため、定義ファイルのダウンロードやインストールは不要です。新しい脅威が特定されると、クラウドで情報が更新され、Webroot のすべてのお客様がすぐに保護されます。
- Endpoint Protection は、他のセキュリティ製品と競合することなく使用できます。

「[Endpoint Protection の使用の開始](#)」に進みます。

Endpoint Protection の使用の開始

エンドポイント エージェントがコンソールにチェックインすると、[デバイス] カラムに表示されるデバイス数が増えます。脅威が検出された場合は、[状態] が[要対応] に変わります。



製品とEndpoint Protectionの詳細については、以下を参照してください。

- [管理者ガイド \(docs.webroot.com\)](https://docs.webroot.com)
- [Business Endpoint Protection \(Webroot コミュニティ\)](#)
- Webroot [サポート ナレッジ ベース \(answers.webroot.com\)](https://answers.webroot.com)